

第 115 回 番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成 30 年 9 月 25 日 (火) 18 時 30 分
- 2 開催場所 久留米市中央町 35-20
ドリームスエフエム放送(株) 本社
- 3 委員出席 委員総数 6 名
出席委員数 3 名
出席委員氏名 田中 優子・中西 昌人
(レポート) 白谷 由紀子・中澤 剛・中島亜沙子(代理)
放送事業者側出席者 秋穂 真由美 内藤 圭祐
- 4 議題 「未来のために、いま選ぼう 私たちの COOL CHOICE リポート！」
- 5 議事の概要 放送事業者が資料とともに 事前に CD に収録した番組を各委員へ届け、感想、意見を述べて頂いた。
- 6 審議内容 ① 番組名：「未来のために、いま選ぼう 私たちの COOL CHOICE リポート！」
② 放送時間：毎週木曜日 13 時 40 分～
③ 放送形式：録音番組
④ 審議の対象：平成 30 年 8 月 30 日 放送分
⑤ パーソナリティ：内藤 圭祐
⑥ ディレクター：内藤 圭祐

【番組コンセプト】

「COOL CHOICE」とは、クールビズやエコカーなど環境省が推進し家庭や企業、地域で参加する地球温暖化対策に役立つ「賢い選択」を促す国民運動です。ドリームス FM では平成 29 年度から環境省が行う地域コミュニティを活用した地球温暖化対策啓発事業にて、久留米市と連携して啓発に関する様々な取組を行っています。この番組では久留米市や地元企業の環境に関する取組やリスナーに呼び掛けて実践している「COOL CHOICE」等も紹介しながら地球温暖化緩和の普及啓発を促すことを目的としています。今回は久留米市環境政策課がボランティアの皆さんと市内の小学校で実施している「環境教室」の取組や様子を現地取材したものを放送。

委員のご意見

「未来のために、いま選ぼう 私たちの COOL CHOICE リポート！」

- ① COOL CHOICE という言葉を初めて知ったが、個人でも企業でも団体でも環境にいいことは取り組んでみようという意味であろうと理解した。取り組みは良いことで、ホテルに宿泊するにしろ、商品を購入するにしろ、世界の消費者は環境に優しいかどうかを選択基準にしていると聞いていたので、そういった前向きな考え方を広げていくという意味でも放送自体非常に意義があると思った。
- ② 今回は小学校での環境学習を市がどのように取り組んでいるかという内容だったが、実際に環境をテーマにした紙芝居や児童の発表など内容はわかりやすかった。ただ、久留米市の環境をテーマにした取り組みについて、全般に渡り職員が説明していたのでリスナーには伝わりにくかったのではないだろうか。焦点を絞って伝えるなどの工夫が必要だった。
- ③ これに限らずこのような久留米市の取組についての放送は定期的に行ってほしい。出前講座などを紹介していくとか、市民参加型の取り組みをもっと前面に出してもいいのではないだろうか。
- ④ クールビズやエアコンの温度設定などに取り組んではいたが、環境に対する取り組みについて理解はしていても実践にまで至らなかった。子供たちの環境教室についても知らなかったが、子供に限らず大人も学んでいいと思う。
- ⑤ 地域の環境問題の対策を地域のコミュニティ放送局が発信するということはとても大事なことだと思う。番組進行もスムーズでとても聴きやすかった。後半の紙芝居の様子や子供たちへの質問が聞き取りづらかった。久留米市が子供たちに教える機会を設けているのであれば、一般論を教えるのではなく、久留米市が抱える環境問題について考えさせる取り組みになるといいと思った。
- ⑥ COOL CHOICE について、内容は適切で久留米市の取り組みが良くわかり好印象が持てた。ラジオ番組で紙芝居を放送するのはいかがなものか。セリフだけで理解できないこともないがリスナーに十分伝わったのだろうか。
- ⑦ 夏の省エネを訴求するのであれば、放送時期を7月中旬頃が適切ではなかったか。

7 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法 自社ホームページへ掲載

8 次回の審議委員会は、平成 30 年 11 月 27 日（火）18 時 30 分から行う予定